

(様式2)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	32	学校名	宇都宮市立瑞穂野北小学校
----	---------------	------	----	-----	--------------

## 令和5年度 学習指導に関する取組

### 1 学習指導上の主な実態

#### (1) 国・県・市の学力調査などから

国語では、既習漢字を読んだり書いたりする問題はよくできている。一方で、言葉の意味を知り正しく使うことや、内容を理解したり段落相互の関係を捉えたりする問題は正答率が低く、文章の読解力に課題が見られる。

算数では、数と計算の問題では、基礎的な計算が身に付いている。一方で、変化と関係の割合や伴って変わる二つの数量の関係を式に表すことについての理解が不十分である。問題文が長く図の読み取りなどが必要になったり、答えが記述式になったりすると正答率が下がる傾向にあり、問題場面を読み取ったり具体的イメージしたりすることに課題が見られる。

#### (2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

「勉強していて、不思議だな・なぜだろうと感ずることがある」・「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」の質問に対する肯定的割合が市の平均よりも低いことから、より深く学ぼうとする意欲が低いことが分かる。また、世の中の様々な出来事や事象に興味や関心をもち、自ら調べたり普段の生活の中で活用できないかと考えたりしている児童は多いが、「できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしている」では、肯定的な回答をしている児童の割合が低い。また、「学校の授業の復習をしている」「テストで間違えた問題を勉強している」児童の割合は低く、自主的に学習に取り組むことができていない傾向が見られる。

#### (3) 授業等への取組状況から

基本的な学習態度は良好であるが、宿題等の提出や必要な学習用具の準備については、個人差が見られる。教師や友達の話や、相手を見て聞くことはできるが、内容が理解できていない場合もあり、児童の語彙力に課題があると考えられる。自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えるといった表現力に関しても、発達の段階に応じた指導が必要である。また、自分がしっかり理解できていないところに気付いて、取り組んでいこうとする意欲に課題が見られる。

### 2 今年度の重点目標

知的好奇心を喚起し、主体的に学び合うとともに、学習内容が確実に定着する授業の工夫

- ・ 「宇都宮モデル」を活用した授業改善を推進する。
- ・ 端末機器を活用した授業を実践し、教科の学びを深める。
- ・ 安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団づくりを目指す。

学校課題「主体的に学習に取り組み、課題を解決していける児童の育成  
～児童の考えを引き出し生かす算数科の授業を通して～」

**3 今年度の取組**（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★、「令和5年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) 学習指導の工夫・改善

★□○「宇都宮モデル」の活用

はつきり：問いをもつ・解決への見通しを立てる

じっくり：自力で課題解決にあたる・交流して課題解決にあたる

すつきり：まとめる・振り返る

○学習内容の定着を図るための工夫

（漢字スキル・計算ドリル等の進め方の共通理解・家庭学習の習慣化）

★□○効果的な学習形態の工夫（ペア・グループ・一斉等）

★□○英語教育・国際理解教育の充実（英語に触れる機会の充実）

○郷土への愛情を育む学習の推進（社会科・宇都宮学・道徳科地域教材）

□○個に応じた指導の充実（習熟度別学習・少人数指導・TT・かがやきルーム等）

★□○ICTの効果的な活用（GIGAスクール構想）とICT支援員の活用

★□○教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成（SDGs等）

★□○地域学校園での共通理解と実践（小学校高学年における教科担任制の推進）

(2) 基礎・基本の確実な習得

○文章の構成や展開について、記述を基に捉える学習の充実（各教科等）

★□○文章を読んだり聞いたりしたことを基に、自分の考えを深める学習の充実（各教科等）

★□○表やグラフ、図等の読み取りや、それらをもとにして考察を書く活動の充実（各教科等）

○読書活動を通じた語彙力の強化

「必読図書」「家読」の推進、読み聞かせの充実、学校図書館司書の授業へ参画

「隙間読書」の奨励と定着

★□ AI型個別学習ドリルなどの学習履歴を活用した学習支援の充実

・チャレンジタイムによる基礎学力の定着

（漢字ミニマム、ステップアップシート、学力調査問題の過去問、問題集等の活用）

(3) まとめの学習の充実と家庭学習の習慣化

★□○めあてと整合性をもったまとめ学習の充実

・「家庭学習の手引き」の活用（児童への具体的な指導と保護者への啓発）

(4) 家庭・地域との連携

★□ 地域の素材を生かした学習活動

・保護者会における、各種学力調査・学習と生活のアンケートの結果をもとにした学習指導の説明

・家庭学習の協力依頼

・個人懇談における情報交換

（規則正しい生活、家庭学習の充実、テレビやDVD、ゲーム、携帯電話やスマートフォン等利用の  
約束について）

★□ デジタル・シティズンシップ教育の推進